

「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）の実施について

1 要旨・目的

最新のデジタル技術等を活用して、廃棄物の不法投棄及び不適正保管（以下「不法投棄等」という。）を早期に発見するための新たな監視方法の構築を図るため、「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）による公募型プロポーザルを実施する。

2 現状・背景

廃棄物の不法投棄等の解決のためには、早期発見が重要であるが、不法投棄等は山間部等の人目に付きにくい場所で行われることが多いことや、監視する人員や回数に限界があること等から、早期発見が十分にできていない。

3 概要

(1) 対象者

県が提示するテーマに対し、AI等のデジタル技術を活用した課題解決策について提案する者を対象とする。

(2) 事業内容（実施内容）

「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）

テーマ	概要
不法投棄等の早期発見を支援できる監視方法の構築	デジタル技術を活用して不法投棄等を検知する技術や仕組み等を構築 監視対象エリアの衛星画像等をAI等のデジタル技術で解析することにより、不法投棄の有無、面積・量の経時変化、廃棄物の種類を検出。 また、構築した監視方法により、効果的な監視が行えるよう、ドローンを導入予定。

※実証実験場所については、県の指定する場所又は提案者の調整した場所。

(3) スケジュール

- 7月14日（水）～ 公募開始
- 8月19日（木） 企画提案締切
- 8月下旬 審査、採択候補先の選定
- 9月～令和3年度末 実証プロジェクトの実施



(4) 予算（単県）

委託額は1件5,000千円を上限（委託件数は2件を予定）

(5) 今後の対応

実証実験の結果、有効と認められる提案内容については、来年度以降、実装化に向けた取組を実施する。

4 その他（関連情報等）

エコひろしま：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/i-i2-koubo-sanpai.html>